

「第2次小平市子ども読書活動推進計画」平成22年度進捗状況

「第2次小平市子ども読書活動推進計画」の平成22年度の進捗状況がまとまりましたので、「第4章 実施のための計画」にそって報告します。

1 家庭における読書活動の推進

子育て支援事業との連携事業として、市内の児童館では「おはなしのじかん」、「絵本のへや」が実施され、絵本やおはなしを楽しむ時間が設けられています。平成22年度は「かみしばいのひ」も行われました。ここでは小平市子ども文庫連絡協議会のおはなしのメンバー「いとぐるま」が事業に協力しています。

児童課では「子育てガイド」を毎年発行しており、図書館の利用案内の見開きの部分を絵本にしたものを掲載するなど見やすくし、市内の各施設で配布しました。

健康課が実施している**3～4か月児健診**では、**絵本リストや図書館案内を配布する**とともに、待ち時間を利用して、図書館職員が「絵本のへや」の案内や読み聞かせなどをロビーで行いました。

公民館では毎年実施している「**家庭教育講座**」のなかで、平成22年度は「布の絵本との出会い」「親子で楽しむ絵本の世界」をテーマに絵本の楽しさを子どもに伝えることを学習する機会を提供しました。

図書館では乳幼児への読書活動への取り組みとして、平成5年度から2～3歳児と保護者に向けて絵本の読み聞かせや手遊びを通じて幼い時から本に親しむ「絵本のへや」を市内の全図書館で実施してきました。昭和50年の開館以来続いている「おはなし会」「児童文学講演会」の実施、図書の展示、ブックリストの配布など**家庭における読書活動**につながる行事に取り組みました。

2 学校における読書活動の推進

第2次の計画では、学校図書館の充実と市立図書館との連携に重点をおいています。

小平市内のほとんどの学校で全校一斉の読書活動を行い、教科等の学習（調べ学習を含む）で学校図書館を活用しました。今後さらに**学校図書館年間活用計画**を作成する学校を増やし、司書教諭を中心とした各教科の学習の展開と読書活動推進のための取組を充実させていきます。平成22年度には小学校2校と中学校2校が、重点課題として豊かな読書活動に取り組みました。

学校図書館システムの整備と活用に関しては、「学校図書館システムマニュアル」を整備して貸出・返却・蔵書点検などを行っています。

学校間の相互利用については、引き続き検討していきます。

教科等の学習（調べ学習を含む）では、**学校図書館配送システム**を活用して、特別団体貸出（調べ学習用図書の貸出）を借り受けています。学級文庫への団体貸出も配送便を活用できるようになり、市内のほとんどの小学校で利用しています。

学校図書館図書標準については、全体の蔵書数では、中学校で図書標準を達成し、小学校でも平成24年度の達成に向けて着実に整備を進めました。今後すべての学校で図書標準が達成されるように努めていきます。

地域資料については、小学校では玉川上水や伝統工芸等、中学校では都内見学や川越などの学習に図書館の地域資料を活用しました。図書館では、さらに研修会などの機会を利用して地域資料を紹介し、学校での調べ学習に生かすことができるように支援をしています。

学級における取組については、学級文庫として絵本や読み物がいつも児童の身近にあり活用されました。保護者による読み聞かせや、子ども文庫連絡協議会の「いとぐるま」によるおはなしの出前が小・中学校でも行われました。各学級での朝読書も小学校13校、中学校7校で実施されました。

児童一人一人の読書状況に応じた取組は、学校図書館の利用指導の中で行われ、国語の授業で学校図書館の利用についてのオリエンテーションを実施した中学校もありました。

司書教諭は市内全校に配置されており、図書館担当教諭とともに学校図書館の運営を行いました。平成22年度に開催された**司書教諭等連絡協議会**は、各学校における先進的な読書活動の取組について学ぶ有意義な情報交換の場となりました。

学校図書館協力員は、中学校に続き平成22年度からは小学校にも配置されました。児童・生徒の読書活動が活性化し、貸出冊数も順調に伸びています。図書館では、学校図書館協力員の研修を実施しました。

図書の整理や修理、飾り付け、読み聞かせなどに**学校図書館ボランティアの受入れ**を行い、生涯学習推進課では、ボランティアに関する研修を実施しました。

読書指南役の研究については、「第二次東京都子供読書活動推進計画」の取組の動向を見ながら研究を進めています。

教科等研究会図書館部会では、「児童の豊かな心を養う」こと、学習・情報センターとしての役割と「効果的に学習を進める」ための活用研究を進めることができました。

特別支援学級の読書状況ですが、学校図書館での読書等を定期的に行い、学級文庫を活用するとともに読書指導を行っている事例がありました。

読書旬間などはそれぞれの学校で実施され、学級だよりや**図書室だより**などでは図書の展示や読書に関する取組が紹介されました。児童・生徒による**図書委員会活動**も活発に実施されました。

3 図書館における読書活動の推進

図書館では、**調べ学習用図書や蔵書の充実**を図るため、児童担当者が新規購入図書の選書、買換えを行なうとともにブックリサイクルを実施しました。**資料情報の提供**ではテーマ別展示を行ったり、図書館ホームページで夏休みおすすめ本リストや市報図書アラカルトの本の紹介をしたり、地域レファレンス事例等の掲載を行ないました。

乳幼児サービスの充実に向けては、全図書館で「絵本のへや」を実施するとともに3～

4か月児健診に児童担当者が出向いて絵本の読み聞かせの実演や近くの図書館の紹介などを行ない、参加者が増加しています。

おはなし会では、新たに「夜のおはなし会」や「父の日スペシャル」を実施し、普段参加しにくい児童にもおはなし会の機会を提供することができました。今後も夜間や休日にも実施するなど参加できる機会を増やせるよう努めていきます。

ティーンズに向けては、中央図書館のティーンズ用の図書の貸出が年々増加しており、職業学習の調べ物にもよく利用されていました。夏休みに実施している**図書館ボランティア入門講座**は、幅広い年代の子どもたちの縦のつながり、仲間づくりの場にもなり、夏休みの行事として定着してきました。

児童図書に関する講演会や講座は、平成22年度も子ども文庫と共催して実施しました。絵本や読書に関するテーマや講師はいずれも好評で幅広い年代の方が受講しました。

小川西町図書館では、図書館利用に障害のある子どものための**布の絵本・遊具や拡大写本**などの収集と貸出を行っていますが、利用促進のための展示や遊具の紹介イベントなどを開催しました。

外国語絵本については、展示コーナーで外国語の絵本や日本の絵本の外国語版などの展示を行うなど紹介に努めるとともに貸出を行いました。

学校図書館との連携は、**学校図書館相談員**による学校図書館への巡回による相談業務の他に一步進めて、授業支援のためのリスト作成や相談員だよりの発行などの支援に取り組みました。

学校図書館協力員への支援を図るため、システム操作、図書修理、読み聞かせやブックトーク等の研修を実施しました。

図書館見学、職場体験、インターンシップ等の受け入れを実施しました。図書館の仕組みを知ってもらうとともに職業教育の一環として、さらに図書館サービスへの理解を深める機会を提供していきます。

都立特別支援学校へは図書館利用案内やおはなし会パンフレットを持参し、連携を図っています。

都立図書館・国際子ども図書館の行事に関するポスター掲示、パンフレット配布を行い広報に努めています。

研修については、おはなし学習会などの館内研修に加え、都立図書館の初心者研修やレファレンス研修、司書資格取得講習会に職員を派遣し、技術の取得と資質の向上を図りました。

仲町図書館の建替えは、「仲町公民館・仲町図書館建替えに関わる方針」を策定し、基本設計を完成させました。仲町図書館は、**学校図書館との連携推進館**と位置付けているため、平成26年度の開館までに学校図書館との連携内容を充実させるための方策を検討していきます。

4 地域における読書活動の推進

保育園では読み聞かせや保護者への本の紹介、子ども文庫「いとぐるま」によるおはなし会などが行われており、引き続き子どもの読書活動の推進に取り組んでいきます。

児童館では児童図書の充実に努め、「おはなしのじかん」「かみしばいのひ」「絵本のへや」などの行事を実施しました。

青少年センターでは、リクエスト本や新刊図書を購入し、図書の充実に努めました。

市内公共施設での子どもの本の充実について、利用案内の配布を依頼したり、ブックリサイクルの児童図書について各施設に情報提供するなど子どもと本を結びつけるように検討をしていきます。

小平市子ども文庫連絡協議会は、小平市の図書館が開館して以来、おはなし会や学習会、講演会などを共催で実施してきました。

子ども文庫は、こどもの本がある身近な場所として子どもたちがおはなしや本を楽しむ場です。母親たちにとっては子育ての拠点ともなっています。

5 地域の力を生かした読書活動の推進

小平地域教育サポート・ネット事業による**学校図書館ボランティア養成講座**を実施しました。図書館職員が講師となって図書の修理、読み聞かせなどについて実施しました。学校図書館の本の修理が進み、子どもたちに整備されたきれいな本が提供されるようになっていきます。生涯学習推進課では、学校図書館ボランティアを対象に研修・交流会を行い、情報交換を行いました。

図書館では、小学校などで読み聞かせをしている方などを対象に実演を含めた「**読み聞かせ実践講座**」を実施しました。学齢前までの乳幼児の保育を付けているため好評の講座となっています。

6 読書推進体制の整備

平成22年度は、第1次計画の最終年度にあたる平成21年度の進捗状況について関連各課を対象に調査を行い、**子ども読書活動推進計画検討委員会を開催**して実施状況についての検討及び第2次計画の施策項目の確認を行いました。

第1次計画における**進捗状況**ですが、文部科学省の補助事業である学校図書館支援センター推進事業により学校図書館との連携の研究を進める中で、学校図書館協力員の配置や調べ学習等の図書の配送便を実施し、学校への支援を実施することができました。

特に学校図書館協力員の配置によって学校図書館の整備が進み、児童・生徒の利用が増え、貸出冊数も増加し続けています。平成22年度からは、小学校19校への学校図書館協力員の配置も行い、小学校の図書館整備も進んでいます。

7 啓発・広報

4月23日の**子ども読書の日**に関わる行事として図書館では「**こだいら子ども読書月間**」

を実施し、全館で子どもの本の展示などを行いました。中央図書館と小川西町図書館では、この期間に「拡大写本の会ひまわり」が作成した布の絵本や遊具などの展示を行うとともに、中央図書館では布の絵本や遊具で遊ぶ会がひまわりのメンバーによって開かれ、多くの子どもと保護者でにぎわいました。

図書館ホームページでは、「こどもとしょかん」「夏休みおすすめ本」「こどもきょうどしりょう」などで情報発信を進めるとともに、小平市ホームページの「キッズページ」で本の紹介を開始しました。

図書館では、児童用の**図書館案内や絵本リストを作成**し、カウンターや小学校の図書館見学時に配布していますが、今後も各種のブックリストなどの啓発資料の作成を行って子どもの読書活動の推進つなげていきます。